

松本市市民活動

サポートセンター通信

No.3

発行元 松本市市民活動サポートセンター
 〒390-0874 松本市大手 3-8-13
 松本市役所大手事務所2階
 TEL/FAX 0263-88-2988
 E-mail support-center@support-center.jp
 URL http://www.support-center.jp



サポートセンター自主事業活動報告



講演会「市民活動とNPO」



2006年(平成18年)3月28日(火)19:00～20:30、当センターフリースペースにおいて、講演会「市民活動とNPO」を開催しました。

講師には長野県NPOセンターの事務局長である、胡桃環(くるみたまき)さんをお迎えし、講演をしていただきました。

当日は13団体30名の参加があり、松本市内からの参加は75%を占めました。残り25%は安曇野市、東筑摩郡朝日村、東筑摩郡波田町、木曾郡大滝村、上伊那郡辰野町からの参加でした。

講師の胡桃さんは、短い時間の中でいかにして参加者のニーズを満たすかという点に重点をおき、「市民活動を行う主体としてのNPOと、法人格を持つNPO法人との違いについて」という非常に概念的でわかりにくい部分を、大変わかりやすく解説していただきました。

参加者に対する市民活動団体の現状についてのアンケート結果では、NPO法人設立済みが17%、設立準備中が17%、設立したいが8%、検討中が4%、どちらでもないが33%、設立したくないが12.5%となりましたが、今後NPOについてさらに詳しく知りたいという方は70%以上を占め、市民活動におけるNPOへの注目度の高さをうかがわせる結果となりました。また、満足度も75%の方から「満足」という回答をいただきました。

今後もさらに市民活動に役立つイベントを企画していききたいと思います。(太田圭郁)

子育て支援団体交流会

4月19日開催の「子育て支援団体交流会」には市内で活動する11団体、34名の市民の皆さんと、行政サイドからはオブザーバーとして子育て支援課等の参加がありました。事前の問い合わせや取材なども多く、子育て支援への関心の高さを改めて感じました。

1部の活動発表会では、短い時間の中でしたが、活動のきっかけとなった出来事からはじまり、具体的な活動の紹介や日々感じていることなど、子どもを取り巻く環境を考える上で大変実のある話題提供をしていただきました。また、今後はこうしていきたいという積極的な姿勢には、子育て環境をより良くしていこうという共通の強い意欲を感じました。一方で資金不足が課題となっていることも明らかになり、センターとしては助成金などの情報を提供していきたいと思えます。幕間のティーブレイクでは、それぞれの活動を知ったところで、早速お互い開催講座への講師依頼の交渉など交流が始まっていました。つづく2部の意見交換会は、それぞれの活動への質問や提案、また子育て観をぶつけ合う場面もあり、活発な意見交換がされました。託児サービスをする団体からは「行政の無料託児に慣れてしまった利用者に有料の理解を得るのが難しい」といった悩みも出され、行政サービスとの整合性ととも市民の意識改革の必要性を感じました。

参加者アンケートの「子どもに関する悲惨なニュースが多い今日、親身になって活動されている方が多くいることがわかりうれしかった。今まで知らなかった活動発表を聞いて勉強になった。良いネットワークづくりにつなげて欲しい。」という意見があるように、お互いの活動を理解する機会となりました。また、今後の連携への期待を大きく膨らませる第一歩でもありました。(黒岩さおり)



CLOSE UP

このコーナーでは当センターに団体登録のある、様々な活動団体をご紹介します！！
今回は活発な活動を続ける2団体にお話を伺いました。

ボランティアサークル日だまり

仕事上、高齢者のお宅に訪問する機会が多く、その先で「洗濯も掃除もご飯もいらないから話がしたい」という声を多く聞いた。カウンセリングを学んでいたこともあり、その仲間と共に会を立ち上げた。

そして、“受ける側の安心のために資格を作りたい”とNPO法人長野県カウンセラー協会に働きかけ、＜傾聴療法士＞という資格とその体得口座も開設する。

今までに5クールを数え、現在の会員数約70名はこの資格を始めとした有資格者である。

しかし、いざ始めると“カウンセリング”と“傾聴”は違うモノと痛感した。「“聴かせていただく”という心をもって、接することがもっとも大切なのだ」実感したという。

2001年の設立以来、順調に活動の幅も広がってきた。

この2月からは、毎週金曜10:00~12:00に市民活動サポートセンターに＜おしゃべり処・日だまり・話＞として活動の場を移し、利用者も伸ばしている。

「将来的には勉強会や講演会も活発に行いたい。行政とも連携を図りたい。」という。

一方、多忙の中で常時自身の気持ちのコンディションを保つ苦労もあるようだ。それでも、「いつもこちらが暖かくなるような何かをいただける・楽しみがあるからやめられないんです。」と笑顔で話す。

「治療の必要な人の為ばかりではなく、人生相談でもない、他愛もない会話をする場を必要とする人は沢山いるんです。人は話をすれば楽になるのだ。と言うことを皆に知って欲しいですね。」と締めくくった。

(小池)



ボランティアサークル日だまり事務局

お問合せ先：代表・新井賀子

◆TEL：090-1503-3899

URL：<http://www13.ocn.ne.jp/~hidamarai/>

「おしゃべり処 日だまり・話」

日時：毎週金曜日（年末年始・祭日を除く）

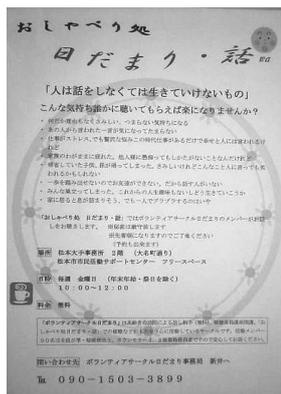
10:00~12:00（専用利用時は除く）

場所：松本市役所大手事務所 2階

松本市市民活動サポートセンター

フリースペース

料金：無料



NPO 法人コミュニティー

既にメディアでも取り上げられなじみのある、松本 CINEMA セレクト。シネサロン時代より、良質100%の映画ばかりではなく、“多種多様の見て欲しい”映画を上映する場を提供し続けてきた代表の宮崎さん。時代の流れで映画館が減り、この3月から[NPO 法人コミュニティーシネマ松本 CINEMA セレクト]と形を変えてもこのスタンスは変わらない。

「音楽や演劇と同レベルで映画が扱われるようになって欲しい。その為に＜①映画の文化的な地位向上＞ 首都と地方のようなく＜②地域による上映格差をなくす＞ 子供の為の映画教室などにより＜③映画観客を育成する＞」という3つの柱を軸に、活動中だ。

法人取得後は、自主上映で完結するのではなく、目標達成に向け+α（アルファ）として

NPO 法人コミュニティーシネマ 松本 CINEMA セレクト

◆TEL：0263-98-4928

E-mail：c_cinema04@hotmail.com

URL:

<http://homepage2.nifty.com/M-C-S/>

「松本 CINEMA セレクト会員募集」

- ◆申し込み：上映会会場、または年会費を下記口座にお振込みください。
- ◆年会費：¥3,000
- ◆特典：入会の翌月から1年間毎月の上映情報の提供や料金の割引など。

詳しくは、同 NPO 法人まで、どうぞ、お問合せください。

郵便口座：

口座名 松本シネマセレクト

00570-8-24691

シネマ松本 CINEMA セレクト

「監督・出演者・製作者の講演会の充実、近隣で撮影が行われた映画の収集・ライブラリー作り、映画祭などハレのイベントの開催を。」と話
は尽きない。

「ここ数年の配給システムの激変で観客動員数は増えたが、上映映画の種類・バリエーションはかえって減ってしまった。今は映画が“作品”でなく“商品”になっている。」と先行きを案ずる。

また、郊外型のスクリーンが増える中、「街中にある映画館という形にこだわりたい。例えば初めて自分から映画に行こうとした青少年や交通弱者が、気軽に足を運べるよう地域に根付いた場所をいつまでも残したい。そのことが今後20年30年後につながるんです。」

今後は、上映者養成にも力を入れていくと言いき、講座の計画も進行中だ。(小池)



月間シネマガイド (5月の上映作品より) 「好きだ、」

17歳のユウとヨースケ。お互いが相手に対して好意を持っているにもかかわらず、「好きだ、」の一言を言えない二人。二人の感情は、近づき、もつれ、すれ違い、また惹かれ。ある悲しい出来事に行き着き、断ち切れてしまう。それから17年、34歳のヨースケとユウは東京で偶然に再会する……。

日時：5月19日(金) 20日(土) 21:00～
場所：松本エンギザ
料金：前売券 ¥1,300
当日券・(一般) ¥1,800 (大学生) ¥1,400

松本市ボランティアセンターより ご案内

☆ 講演会 ☆

<アフガンボランティアの目を通して 日本をもう一度見直して見ませんか?>

戦争で断ち切られた心の絆を結び直し、
平和な国への復興を始めています。

講師：ワヒド・アマード・ザマニ

シャンティー国際ボランティア会・アフガン復興支援活動に4年前より参加し、20人のアフガン人スタッフを取りまとめ様々な活動をしています。

- * 学校(小・中・高)建設
- * 図書館(学校・地域)建設
- * 移動図書館の運営
- * 本造り(アフガン伝承物語)
- * パキスタン地震の救援

アフガンは宗教、生活、習慣、伝統、文化など便利さに慣れすぎた私たちからは想像も出来ない独特のものがあります。その中で工夫を凝らしての活動経過は、心が荒廃した日本に多くの示唆を与えてくれると思います。

「アフガンでは大人が子供の前で冗談を言ったり、笑ったり大声を出したりするのは恥ずかしいこととされているので、大人が感情移入して読み聞かせすることは難しい。しかし、子供が学ぶ姿はどここの国でも共通です。アフガン流の図書館活動に挑戦したいと思います。」(ワヒドさん談)

日時：5月18日(木) 18:30～20:00

場所：松本市総合社会福祉センター4F 大会議室

主催：松本市社会福祉協議会

共催：おんなじ空ネットワーク

お問合せ：中村ひとみ(社協) ◆TEL：25-7311

倉科利行(空ネット) ◆TEL：34-4308

☆ 運転ボランティアしてみませんか ☆

障がいをお持ちの方や高齢者の方が、通院や買い物などで外出が必要になったときに、送迎のお手伝いをさせていただき『運転ボランティア』を募集します!

ボランティアの激減で困っております。 皆さまのお力お貸しください!!

* 車両につきましては、社会福祉協議会の福祉自動車(スロープ付の軽自動車・普通自動車)を使用します。
お問合せ：松本市社会福祉協議会ボランティアセンター

◆TEL：0263-25-7311



多文化共生マネージャー養成コース

在住外国人が直面する諸課題、地方公共団体や関係団体の事業展開に際し多文化共生に向けた諸課題について理解を深め事業の見直し等ができる人材を養成します。地方公共団体や地域国際化協会と実際に協働しているNPO/NGOの方も対象(福祉関係も可)になりました。

- ◆日時：7月3日～7日(第2回)
- ◆問合せ：全国市町村国際文化研修所(JIAM)教務部
- ◆Tel：077-578-5932

クラフトフェアまつもとボランティア募集

5月27日(土)、28日(日)にあがたの森で「クラフトフェアまつもと」が開催されます。野外イベント会場の案内、設営、片づけ等。昼食付きです。男女年齢問わず健康な方。9:00～18:00までの間に3、4時間でも結構です。ご応募をお願いします。

- ◆申込締切：5月20日
- ◆問合せ：NPO法人 松本クラフト推進協会
- ◆Tel：34-6557 担当：薛田加代

信州大学医学部付属病院では ボランティア活動をしてくださる方を募集

総合案内、初診・再診受付等のお手伝い、患者さんとお話相手、お世話など。

- ◆月1回以上、1回3時間以上の活動が可能の方
- ◆面接：毎週月曜日～金曜日の8:30～17:00
- ◆問合せ：信大医学部付属病院医事課ボランティア担当
- ◆Tel：37-3098

子育て指導者養成講座

地域の子育て指導者の養成に必要な専門的、実践的な学習をします(20時間)。原則として全5回とも参加でき、今後地域の子育て支援活動へ携わろうとする意欲のある方。ただし、1回のみ参加も可能。

- 6月から11月まで全5回
- ◆申込締切：5月24日
- ◆問合せ：松本市役所子育て支援課
- ◆Tel：33-9855
- ◆主催：長野県教育委員会

アグリサポート事業 サポーター募集

今年も農作業を支援するアグリサポート事業を実施します。青空の下果樹園でりんごの摘果作業など、農家の皆さんと心地よい汗を流してみませんか。

- ◆日時：5月23日～25日、5月30日～6月1日
8:30～16:30 ※1日だけの参加も可
- ◆場所：今井・里山辺地区他
- ◆条件：各自で現地集合し、昼食は持参。
謝礼650円(1時間)
- ◆申込み：5月12日までに松本市役所農政課へ
- ◆Tel：34-3222 Fax：36-6217

松本市市民活動サポートセンターボランティアを募集

- ◆絵を書くことが上手な人。◆人を集めることが得意な人。
- ◆イベントをお手伝いしていただける人。などなど、一度市民活動サポートセンターへ寄ってお話ください。

サポートセンターからのお知らせ・募集



ごあいさつ

4月から市の組織替えにより、新たに市民との協働を推進する担当部署が市民活動サポートセンター内に設置されました。組織上は市民環境部市民生活課に所属し、名称は「協働推進係」といいます。担当職員は、課長の安達正泰、係長の山田正、主任の尾崎順の3名です。

これから市民参加・参画による市民が主役のまちづくりを進めるため、市民活動サポートセンターの職員とともに市民活動の支援・促進を図り、市民と行政との協働施策をより一層推進してまいりたいと思いますので、市民のみなさんのご意見ご要望をお気軽にお寄せください。今後とも何卒よろしくお申しあげます。

スタッフ紹介

4月からサポートセンターにも新メンバーが加わりました。一言ずつどうぞ。

- ◆土曜日の夜を主に担当することになりました。わからないことだらけで大変ですがとても楽しく勉強になる部署です。精一杯頑張りますので宜しくお願いします。(くわ)
- ◆わからない事ばかりですが、「和(輪)」を大切に、少しでも皆様の活動のお役に立てますよう頑張りますので、よろしくお願ひ致します。(のみ)
- ◆主に窓口と情報誌を担当します。市民と行政とより近い関係になるよう注力していきます。(こけ)

編集後記

当通信は、市民活動をされているかたの為の情報誌です。“こんな情報をもっと載せて欲しい”などご意見・ご感想をサポートセンターまでお寄せください。また、このサポートセンター通信の共同編集委員も同時募集中。お待ちしております。(編)



情報大募集!

こちらのInformationコーナーに掲載したい情報などがございましたら、当センターまで、どしどしご連絡ください。センターHP <http://www.support-center.jp> も随時更新中。センター施設予約情報、イベント・助成金情報、協働、NPOとは? などなど情報満載です。松本市公式HP <くるくるねっと>からもリンクしています。ご利用ください!!